

## 会議要録

会議の名称	酒田コミュニケーションポート（仮称）整備検討委員会（第2回）
開催日時	平成29年11月28日（火） 午後1時30分 ～ 午後3時15分
場 所	市役所本庁舎3階 第3委員会室
出席者	<p>○出席委員 小田島 健男 委員（副委員長）、片桐 晃子 委員、久木原 満 委員、佐藤 晶子 委員、佐藤 真美 委員、齋藤 潤弥 委員、高橋 利春 委員、中原 浩子 委員</p> <p>○欠席委員 矢口 明子 委員（委員長）、田代 典子 委員、平尾 清 委員</p> <p>○事務局 阿部企画振興部長、菅原教育部長、阿部都市デザイン課長、岸谷図書館長、阿部都市デザイン課長補佐、田中観光振興課長補佐、岩浪図書館副館長（都市デザイン課） 本間主査、土井主査、齋藤調整主任、高橋主任、相馬主任、今井主事</p> <p>○基本計画策定支援業務委託者（株式会社図書館総合研究所） 野田取締役、松田主任研究員</p> <p>○再開発事業者（光の湊株式会社） 平澤課長</p> <p>○基本設計担当事業者（株式会社アール・アイ・エー） 有木主任</p> <p>○傍聴者 市民2名、マスコミ1社</p>
<p><b>1 開 会（事務局）</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・委員長が欠席のため、酒田コミュニケーションポート（仮称）整備検討委員会設置要綱第3条第5項の規定に基づき、副委員長が委員長の職務を代理する。</li> </ul> <p><b>2 議 事</b></p> <p>(1) 蔵書計画基本方針（案）について（資料1、資料1-2に基づき事務局説明）</p> <p><b>委 員</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・古地図・絵はがきも収集するとあるが、購入するのか、それとも地元の所有者から寄贈してもよいのか。</li> </ul> <p><b>事務局</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・寄贈もお願いしていくし、手に入らない貴重な資料が出てきた場合は購入していく必要があると考えている。</li> </ul> <p><b>委 員</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・亡くなった蔵書家の貴重な蔵書が散逸することもある。図書館として寄贈受入の基準があれば、そうした蔵書も役立てられると思う。</li> </ul> <p><b>委 員</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・古い資料はデジタル化で保存することで活用しやすくなると思うが、どのように考えているか。</li> </ul>	

#### 事務局

- ・歴史的な資料はデジタル化しアーカイブしていきたい。それをデジタルサイネージ等で見せることで、観光とリンクした活用や、教育にも使えると思うが、費用がかかることが課題である。

#### 委員

- ・マンガ資料について、月刊週刊などのマンガ雑誌は収集対象から外れるとのことだが、国際交流の場面では日本のマンガの話はすごくよく出る。文化交流、英文多読等の観点から英字のマンガ資料、マンガ雑誌については検討の余地があるのではないかと。

#### 事務局

- ・英語だからということではなく、市民に活用してもらおうという観点から収集をはかっていきたい。「ピーナツ」のようなやさしい英語で書かれているものは学習の観点から有用かもしれない。

#### 委員

- ・「ピーナツ」のようなものではなく、日本原作のマンガで英訳されているものがたくさんあるので、それを収集対象としてはどうかという提案である。

#### 事務局

- ・今後検討してまいりたい。

#### 委員

- ・教科書について。酒田市で採用されている、過去にされてきた教科書の閲覧は、今でもできるようになっているのか。

#### 事務局

- ・教科書を選定する段階で期間を定めて閲覧に供してから、選定されていると理解している。

#### 委員

- ・地元の子どもたちが勉強している教科書の今の状況が見られるようになるとありがたい。

#### 事務局

- ・今後検討してまいりたい。

### (2) 市民参画手法の検討状況について（資料2に基づき事務局説明）

#### 委員

- ・ボランティアへの支援にあたっては「人材育成」が最も大事である。市民参加が高度に機能していくには、育てていく仕組みが必要である。酒田市全体で底上げすることが近隣に良い波及効果をもたらすような事例になってほしい。検討をお願いしたい。

#### 事務局

- ・建物ができればいい図書館になるわけではない。市民と一緒に育てていくという姿勢で考えていきたい。

#### 委員

- ・新しい図書館をどう活用していくかが重要。市外、県外、海外からもここに来たいと思えるような活動や発信が、市民参画の中に入ってくると有効だと思う。酒田市民以外の方もこの施設を使える、市民と一緒に活動できることがわかるとよい。
- ・ホテルとの連携がポイントになる。宿泊者もこの施設を利用できる、イベントに参加できる、宿泊者が主役になれるような仕掛けが展開できると、酒田にしかない図書館が実現できると思う。

#### 事務局

- ・ホテルのほかに民間施設もあるので、相乗効果を高めることで魅力ある施設としていきたい。

#### 委員

- ・「市民参画全体イメージ図」にある「市民サポーター制度」が上に来るようになってほしい。観光体験プログラムなども、市民が講師になって、観光客だけでなく市民も参加できるようになるとよいと思う。市民サポーターが核になって企画をするイメージである。

・図書館の貸出を市民だけでなく観光客にもできるようにするとよいと思う。

**事務局**

・現在も市民以外、例えば里帰りした人に貸出はしている。課題は返却をどうするか。現在は送料利用者負担で送ってもらっている。ホテルと連携して宿泊者への貸出は検討してまいりたい。  
・ボランティアの育成は今後の課題である。

**事務局**

・ホテル側でもライブラリーセンターとの連携を意識した意匠の検討を行っている。ホテル宿泊者へのサービスは他事例を調査し検討していく。

**委員**

・市内の他のホテルでも利用可能か。

**事務局**

・検討していく。

**委員**

・市民サポーター制度という形だと、若者が参加しにくい懸念がある。中学生・高校生を参加させる制度を検討した方がよいのではないかと。若い子たちも地域のことを考えているが、自らすすんで意見を発表する機会が無い。「総合的な学習の時間」のテーマとして投げかけて、コミュニケーションポートの使い方などを考えてもらえれば、次代を育てることにもつながる。

**事務局**

・非常に貴重な意見であると思う。調べる学習を通して学校と図書館が連携するなどの方策を検討していきたい。

**委員**

・駅前から遠い学校の生徒も、スクールバスなどで来て使ってほしい。  
・教科書も時代とともに変わっている。閲覧の機会ができるとういと思う。

**委員**

・若者に参加してもらえるようにするという意見に賛成である。資料の市民参画イメージはありきたり。中学生高校生に任せるくらいの思い切ったことをすることで、当事者意識を持たせるべき。登米市では中学生が参加する「こども議会」が大人を引っ張っていった事例がある。若者に任せて大人がサポートしていく、思い切ったことをやるべきではないか。

**事務局**

・若いうちから社会に関心を持ってもらうことは重要である。参加のハードルを下げていく仕組みを検討してまいりたい。

**(3) 運営手法の検討状況について（資料3に基づき事務局説明）**

**委員**

・民間との複合施設ということも踏まえて、運営をどのように考えているか。

**事務局**

・民間施設については、事業完了後に管理組合を設立しそちらで維持管理していくことになるかと考えている。施設全体のイベントを民間側と一緒にやっていきたいと考えている。

**委員**

・仮に直営であったとしても、民間と連携して事業を実施していけると考えているか。

**事務局**

・一緒に話し合っていける場を作れば可能と考えている。

**委員**

・佐賀県伊万里市の図書館は市民参画が活発なので、指定管理者にしないとのことである。運営手法については市民参画のあり方と一緒に考えていく必要がある。また、複合施設であるので、直営

の場合そこがきちんと連携できるかについては確認しておきたい。複合施設に入っているパートナーとなる民間の人達が、公共施設側の運営をどう考えているかも知りたい。直営はかんべんしてくれよと思っているかもしれないし、その辺の話を聞くべきだと思う。

#### 委員

- ・この議題は非常に重要なテーマである。さらにみんなで掘り下げていく場の設定もあってよいと考えている。

#### (4) 施設建築物の今後の実施設計に向けて（資料4に基づき事務局説明）

#### 委員

- ・今回出席されている事業者の方に、酒田駅前複合施設の特徴や魅力などをお聞きしたい。

#### 光の湊株式会社

- ・いろいろ検討いただいた結果、広場が真ん中に来ているが、この広場をどう使うかが今回の事業のポイントであると考えている。
- ・民間と公共施設が融合して運営していかなければならないというご意見は全くその通りと考えている。新しい施設をつくることを通してまちづくり、庄内全体の地域づくりに貢献していきたい。連携したイベントの実施等の検討はこれからだが、地元の方の参画を得て、地元の方が中心となって実施することが重要と考えている。ホテルと図書館との連携については、ホテル側からも前向きな意見が出ている。
- ・天気の良い日には広場とホテル・バンケットを一体化したイベント、パブリックビューイング等を行っていきたいと考えている。施設ができた後も関わっていくので、今後も皆さまからご意見をいただきたい。

#### 株式会社図書館総合研究所

- ・弊社で関わっている最近の図書館を中心とした施設整備においては、市民参画も活発に行われ、最新のICTも取り入れるなどすることで、多くの市民から支持されている。今後も知恵を出し合いながら、市民が誇れる施設づくりに協力していきたい。

#### (5) その他

#### 委員

- ・周辺市町の方がコミュニケーションポートの計画についてあまり知らない。この委員会の資料などは教えてもよいのか。

#### 事務局

- ・ホームページ、フェイスブック等を使って発信は行っている。委員会の資料も公表している。12月10日（日）にはシンポジウムを予定している。これからも発信を強化していきたい。

#### 委員

- ・Wi-Fiの導入、パソコンの持ち込みについては大丈夫か。

#### 事務局

- ・Wi-Fiは導入する。パソコンの持ち込みは、設計と協議しながら場所を検討している。

#### 委員

- ・シンポジウムはもっと大きな場所でやってもよかったと思う。自治会で回覧を回せば集まると思う。

#### 事務局

- ・シンポジウムのチラシをお配りしているが、集客に苦戦している。委員の皆さまにもご協力をお願いしたい。

#### 4 閉会